

中国語テスト問題自動生成技術の開発について

株式会社KDDI研究所(本社:埼玉県ふじみ野市、代表取締役所長:秋葉 重幸)と株式会社国際電気通信基礎技術研究所(「けいはんな学研都市」、代表取締役社長:畚野信義、略称:ATR)の音声言語コミュニケーション研究所(所長 中村哲)は、この度、中国語のテスト問題を自動生成する技術を共同開発しました。

これまで、英文からテスト問題を自動的に生成する英語テスト問題自動生成技術について、その有効性の確認を終了し、コンテンツプロバイド事業の準備をすすめています。今回は、本技術を中国語にも対応できることを確認することにより、英語や中国語を始めスペイン語、フランス語、イタリア語、ドイツ語や韓国語などの学習者の多い言語に対して、世界で初めて、高い精度で問題自動生成が可能であるとの見通しを得ました。

今回開発した中国語テスト問題自動生成技術は、従来は人手で作っていた中国語の空所補充テスト問題を自動的に生成することができるものです。テスト問題の元になる文を与えると、空所の位置とそれに対応した選択肢が自動的に高精度に決定されます。

中国語学習者数は爆発的に増加していて、需要に対応する中国語教師が不足しているのが現状です。本技術を利用すれば、中国語の最新ニュースなどを使い問題を生成することができるので、学習者を引きつける新鮮な教育コンテンツを自動生成することができます。教師の負担の軽減や、補助教材として利用することができます。更に、自動生成問題を利用して、中国語の TOEIC 試験に相当する TECC などの中国語語学検定試験のスコアで回答結果を出力することを計画しています。

本技術の適用例としては、(1)携帯電話向け中国語学習、(2)携帯電話での簡易中国語診断、(3)中国語WEBサイトからオンデマンドでの教材生成があげられます。

今回開発した英語問題自動生成技術をauのBREWアプリとして実装し、ATRのオープンハウスで公開し大きな反響を得ることができました。なお、今回開発した技術の一部は、独立行政法人情報通信研究機構(NICT)からATRが受託したプロジェクト「大規模コーパス音声対話翻訳技術の研究開発」の成果です。本技術の関連特許としては、国内5件を出願しています。

本件に関するお問合せ先

株式会社KDDI研究所 テキスト情報処理グループ

(TEL: 049-278-7545 / E-mail: info@kddilabs.jp)

株式会社国際電気通信基礎技術研究所音声言語コミュニケーション研究所

(TEL: 0774-95-1301 / FAX: 0774-95-1308)

以上